ドロップ・サイト・デイリー、１１月９日：ガザの洪水で７万張りのテントが流される；中間選挙での大敗を受け、トランプ氏が移民問題での合意に前向きな姿勢を示す；サウジアラビアの空爆でイエメンの村で 21 人の子供が死亡

脇浜義明訳　＊脚注は訳注

イラン

＊米軍、またもやゲシュム島攻撃：イラン国営メディアによると、米軍は８日夜、ホルムズ海峡のゲシュム島に向けて「飛翔体」を発射し、少なくとも４回の爆発を引き起こした。

・イラン当局は、米軍がケシュム島の住宅地と商業地の外のいくつかの地域を標的にしたと述べた。ホルモズガン州のアフマド・ナフィシ副知事は国営放送 IRIB に対し、「島の重要なサービス・インフラに被害はなかった」と語った。

・ケシュム島の住民が８日夜遅く何回かの爆破を聞いたと言っていると、国営メディアが伝えた。

＊米国の攻撃で基本的医薬品不足：イラン食品医薬品局によると、最近の米軍の攻撃で、医薬品製造会社１５社と８社の流通会社が被害を受けた。

・その結果、７００種類の必須医薬品のうち３７種類が供給困難な状態にあると、同局の報道官がタスニム通信に勝語った。

＊ハメネイ師、膠着状態の打開を促す：イラン最高指導者モジタバ・ハメネイ師が米国との「戦争でも平和でもない」」状態を終わらせるために新しい指示を出したと、ペゼシュキアン大統領が述べた.

・イラン・メディアの報道によると、ペゼシュキアン大統領は９日、「最高指導者は我々に、戦争でも平和でもない状態を終わらせるように命じた」と言った。

・イランのアッバス・アラグチ外相は、ホルムズ海峡再開に向けたイラン政府の２日間提案を米政府が受け入れることを促し、イランの立場は変わらないと言った。

・「米国の有権者は選択を行なった。今度は米政府が選択しなければない。我々の２日間提案は変わらない。あらゆる戦線での戦争終結を含む提案を米国が満たせば、ちゃんとした結果が出るだろう。もし、戦争を選択するなら、警戒態勢にあるわが国の戦い慣れた兵士たち地獄の雨を降らすのを見るだろう」と、アラグチ外相は X に投稿した。

＊トランプ大統領、協議に進展があればイラン攻撃は「たぶんしない」と発言：トランプ政権は CNN の電話インタビューで、ワシントンがテヘランとの交渉で進展があると見れば、攻撃再開の可能性は「極めて低くなる」と言った。

・しかし、トランプは、攻撃再開の場合、米軍は３８の橋などイラン施設を標的として特定していると付言した。

・仲介努力を主導してきたカタールの首相は、トランプ大統領とヴァンス副大統領と会談するために、９日にワシントンD．C．に到着した。

＊イラン、反政府デモ関係で３人を処刑：イラン国営テレビによると、カラジで８日、１月に全国規模で発生した反政府デモに関する罪で有罪判決を受けた３人に男性が処刑された。

・３人はデモ中に武装暴動、公共物破損、イスラエルと米国への協力の罪で有罪となった。イランは今年、同じような罪で２０人以上を処刑している。

パレスチナ

＊ガザ回廊で死傷者発生が続く：ガザのパレスチナ保健省によると、過去２４時間でイスラエル軍の攻撃で、パレスチナ人３人が死亡。２人は新たな攻撃による死亡で、１人は以前の攻撃で負った傷が原因で死亡。負傷者は１５人。

・２０２３年１０月７日以降の死者総数は７４，６４３人で、負傷者は１７５，９６２人となった。いわゆる「停戦」初日の２０２５年１０月１１日以降のイスラエルの停戦違反の攻撃で、少なくとも１６１３人のパレスチナ人が殺害され、５８３３人が負傷した。瓦礫の下から回収された遺体は８４９体である。

＊豪雨でパレスチナ人５人が死亡：アル・ジャジーラによると、８日、ガザ回廊中部のデイル・アル・バラフで、避難民の仮設テントに砂の崖が崩落して押し寄せ、子ども４人を含む少なくとも５人が死亡した。崩落は冬の豪雨のために起きた。

・大量の砂と岩の下敷きになって行方不明となっている者が多数いると報じられている。市民防衛団と住民たちが、素手で瓦礫を取り除いて捜索している。

・「これは人類の良心が恥じるべき光景だ」と、ガザ政府メディア・オフィスが９日の声明を出した。

＊冬の嵐で、ガザ回廊で７万のテントは洪水に襲われた：ガザ政府メディア・オフィスによれば、冬の嵐第１号が週末にガザ回廊を襲い、１２時間で約７万のテントが水浸しになった。市民防衛団には２１００件以上の救援要請が寄せられ、最高レベルの非常事態宣言が出された。

・市民防衛団によると、豪雨でテント、シェルター、小屋など避難民キャンプ数十か所が浸水し、場所によっては水位が１．５メートルに達した。

・セーブ・ザ・チルドレンは声明で、「これは単なる悪天候の結果ではない。テント、シェルター・キット、燃料がガザに搬入されないで、外で待っている間に、中のガザでは子どもたちが水の中で眠っている。イスラエルが物資搬入を阻止しているから起きた悲劇だ。イスラエルが選択し、子どもたちがその代償を支払っている。いわゆる「停戦」から１年以上が経過したが、パレスチナの子どもたちは守られていない」と述べた。

＊運輸会社、業務停止を発表：ガザ保健省は８日、複数の認可運輸会社から運輸業務の全面停止を告げる報告を受けたと発表した。各社は、未払い料金の積み重なり、頻繁な故障で多くの車両が運行不能になったこと、スペアパーツ、オイル、タイヤの深刻な不足を理由にあげている。

・保健省は「病院や初期医療センターを脅かす深刻で前例のない影響」を警告している。

＊イスラエル刑務所のパレスチナ人囚人の８０％が疥癬に感染：パレスチナ囚人協会は８日、イスラエルの刑務所に収監されている女性と子どもを含むパレスチナ人の約８０％が疥癬に感染していると報告した。イスラエル当局は日常的にパレスチナ囚人に適切な治療、衣服、衛生を拒否している。

・パレスチナ囚人協会は、弁護士が１０月から１１月にかけて面会に刑務所を訪れたときに観察したことに基づき、一部の刑務所区画では２～３日おきに暴力行使があり、囚人たちは殴打、警察犬による襲撃、ゴム弾発射、催涙がガス発射の暴力にさらされていることを明らかにした。また、構造的な食料不足も確認された。新規囚人には量と質が非常に低い食料が与えられる。酷い過密状態で、看守が昼の間にマットレスを没収し、囚人たちは直に床の上で寝るしかない。

＊イスラエルの大統領、アイゼンコットを新政権組閣に指名：イスラエルのイサク・ヘルツォグ大統領は７日、ガディ・アイゼンコットを正式に組閣に指名し、新政権樹立の機会を与えた。アイゼンコット首相は２８日間の組閣猶予があり、さらに大統領から１４日間の延長が認められる可能性がある。もしその期間内に組閣できない場合、ネタニヤフに連立内閣樹立の機会が与えられる。ネタニヤフも組閣できない場合は、また総選挙になるかもしれない。

・アイゼンコットは、４つの条件に合意する政党と連立すると言っている。１．イスラエルをユダヤ人国家かつ民主主義国家として認めること、２．国民全員に国家奉仕の義務を課すこと、３．ハマスをテロ組織として認めること、４．ハマスの軍事力と統治能力を破壊することを誓うこと。

・ネタニヤフのリクード党は単独政党としては最多議席を獲得したが、彼の連合は定数１２０議席の過半数となる６１議席には届かない５３議席にとどまった。アイゼンコットのヤシャル党は２１議席を獲得し、第二党となり、彼の連合は４８議席である。イスラエル内パレスチナ系住民を代表する２つの政党は前例のない１９議席を獲得した。

・クネセトの新議員たちは１０日に夕方に宣誓式を行う。ネタニヤフ内閣は、新連立内閣が樹立されるまで、権限を制限された暫定内閣として政権の座にとどまる。

イエメン

＊サウジアラビアのイエメンの村への空爆で少なくとも４４人が死亡：サヌアの保健省は８日、首都サヌア近郊の村へのサウジアラビアの空爆で、子ども２１人を含む少なくとも４４人が死亡したと発表した。AP 通信によると、これは戦争の最新局面で最も死者数が多い攻撃である。

・保健省によれば、首都東部のアッシャリヤ村への空爆では、子ども８人、女性９人を含む負傷者も出た。また、救助隊が瓦礫に下敷きになっている行方不明者を捜索しており、死者の数は増える可能性がある。

・７日から８日の間の２４時間でイエメンの６つの県が少なくとも９１回空爆されたと、アンサール・アッラーの軍事報道官ヤヒヤ・サリーが発表した。彼はまた、９月に新たに紛争激化して以来、サウジアラビア主導連合軍のイエメン攻撃の総数は４４６０件になったと述べた。

＊リヤドのアラムコ本社が被害：ロイター通信によると、サウジアラビアの首都リヤドにあるサウジ石油大手のアラムコ社の本社ビルが８日に被害を受けた。これは、このビルの攻撃に失敗した爆弾の破片の落下による被害だと、エネルギー省が発表した。

米国ニュース

＊トランプ大統領、中間選挙の敗北原因と、民主党との将来の移民協定について「６０ミニッツ」で語る：トランプ大統領は日曜日（８日）の CBS[番組「６０ミニッツ」のロス・ダウサットのインタビューで、共和党の歴史的中間選挙敗北について語った。彼は敗因の一つとしてイラン戦争を挙げ、「有権者は戦争を好まなかった」と言った。「ガソリン価格が上昇したことも気に入らなかった」と述べ、さらに彼が「イスラエルへの強い嫌悪感」と呼んだことも一因に挙げた。トランプは、ヴァンス副大統領が先週 X への投降でイラン戦争を主要敗因に挙げた事後分析に言及し、自分もヴァンスと同じ考えだが、同じ状況になればまた同じ決定をするであろうと言った。彼は、ヴァンスのコメントが「気に入った」と述べた。

・トランプは、自分の移民取締り政策が厳しすぎたために中間選挙で共和党に不利に働いた可能性があると言った。彼は、国境警備を強化するが、犯罪歴がなく、一定期間米国に居住している移民労働者の一部には、米国滞在を認める包括的な移民政策改革案に前向きな姿勢を示した。

＊しかし、トランプは極右で反移民のスティーブン・ミラーをスージー・ワイルズの後任としてホワイトハウス首席補佐官に就任させた：トランプ大統領は６日、以前自分の国土安全保障担当補佐官をで副主席補佐官のスティーブン・ミラーを、スージー・ワイルズの後任としてホワイトハウス首席補佐官にすると発表した。トランプは Truth Social への投稿で、ミラーを「政治的に優れて理解力があり、「優秀な管理者」だと評した。ある情報筋はポリティコに対し、中間選挙で共和党が勝っていればワイルズは解任されなかったであろうと言った。また他の情報筋は、トランプは彼女が「抑制的な牛」のように振る舞うことに不満を抱いていたと言った。４１歳のミラーは２期にわたってトランプの主要顧問を務め、トランプの強硬な移民政策を立案した。

＊クリーンエネルギー法案、可決に向けて前進：上院は超党派の米国負担軽減・雇用法案（BAAJA）と呼ばれる許認可改革法案の、いわゆる一括修正案を発表した。この修正案は、主として先住民族の権利に関する懸念に対処することを目的としている。クリーンエネルギー業界は BAAJA を強く支持しているが、エネルギープロジェクトの阻止を目的とする一部の環境団体は依然として反対している。

・この法案は、環境・公共事業委員会のシェリー・ムーア・カピト委員長（共和党）と筆頭委員のシェルドン・ホワイトハウス上院議員（民主党）、エネルギー・天然資源委員会のマイク・リー委員長（共和党）と筆頭委員のマーティン・ハインリッヒ上院議員（民主党）の支持がある。法案支持者たちは、この先２週間以内に可決されると楽観しており、次期議会に先延ばしすれば廃案になると心配している。

・環境保護者の反対に対する反論は単純である。訴訟や規制に依存して化石燃料からクリーンエネルギーに移行する措置はエネルギーコストの上昇を招き、中間選挙で見られたように、政治的に逆効果となる。クリーンエネルギーが汚染エネルギーを上回る規模で建設することで、初めて移行が可能となるので、そのためには、クリーンエネルギープロジェクトを阻止する有力な一部の地方団体を抑え込む必要がある。

・さらに支持者たちは、現行法のままでは、化石燃料業界が汚染エネルギー施設を建設することを阻止できないと主張している。

＊トランプ大統領、民主党議員に対して司法省の捜査を命令：トランプ大統領は7日、民主党議員らの「犯罪行為」を捜査せよと司法省に命じたと言った。彼はTruth Socilalへの投稿で、民主党による捜査や弾劾の脅迫は「最高水準の恐喝」だと書いた。特にエリッサ・スロットキン上院議員を名指しして、彼女が若い保守派を脅迫していると非難し、「こういう恐喝者は投獄すべきだ」と言った。8日にCNNの番組「ステート・オブ・ザ・ユニオン」に出演したトッド・ブランシュ司法長官は、議会には監視権限があることを認めつつも、民主党議員らの発言は一線を越えていると言った。彼は、トランプ政権を調査する民主党議員を司法省が訴追するかもしれないことを否定しなかった。彼は、もし私が議会の監視委員会の議員だったら、非常に心配するだろう」と述べた。さらに、司法省は、民主党の監視や調査に直面しているトランプ政権の高官らに、法的擁護を提供すると付言した。

＊アラスカ州上院選で、ペルトラが「数百票』のリード：アラスカ州のマイク・ダンリービー知事は8日、地元のラジオ局に対し、アラスカ州の上院選は「非常に接戦」で、今のところ民主党のメアリー・ペルトラが約「数百票」リードしていると語った。第1段階で７０%の票が集計され、その後優先順位付投票制[1]が適用される。その後の票は今後2週間かけて集計される。Decision Desk HQによると、ペルトラがダン・サリバンを僅かにリードしている。ベルトラの得票率は約４８．２%、サリバンのそれは約４７．９%である。

・メアリー・ペルトラ選挙事務所は6日、アラスカ州選挙管理委員会が却下した不在者投票の記録へのアクセスを求めて、州を提訴すると発表した。ペルトラ陣営は何回も投票用紙へのアクセスを求めたが、拒否されたと非難し、「有権者の合法的な投票を正しく集計されているかどうかを確認するためにアクセスが必要だ」と主張。州は6日の記者会見で、「ペルトラ陣営が要求する方法で情報を提供する憲法上の義務はない」と回答した。

＊下院共和党指導部はピート・ヘグセス国防長官の弾劾を期待：アクシオスの報道によれば、共和党議員の離脱によってピート・ヘグセス国防長官の弾劾が可能になると下院共和党指導部が見込んでいる。退任する共和党議員には失うものはなく、ヘグセスに対する反感はかなり大きい。退任するネブラスカ州選出のドン・ベーコン下院議員はフォックス・ニュースに対して、議会ではヘグセスは「人気がない」と言った。今週、トーマス・マッシー下院議員は、ヘグセスが議会を無視し、イラン戦争を違法に継続したと非難する弾劾決議案を強行する計画である。ヘグセスは弾劾を「茶番」と呼んでいる。弾劾でヘグセスを追放するには上院で賛成67票が必要である。

＊チャック・シューマー、民主党上院多数党院内総務就任に必要な支持を得たと表明、クリス・ヴァン・ホーレンはそれに挑戦：民主党上院少数党院内総務チャック・シューマーの側近はニューヨークタイムズ紙に対して、75歳のシューマーが民主党上院の多数派院内総務に就任できるのに十分な数の議員の支持を得たと語った。シューマーは2017年から院内総務の指導的職務を務めており、２０２１年から２０２５年には多数党院内総務を務めた。今回は、党の上院指導部を交代させようという動きがあり、クリス・ヴァン・ホーレン上院議員を擁立しようという運動が進んでいると、「ポリティコ・プレイブック』に報じた中で、このような発表があった。ヴァン・ホーレンは前にシューマーへの対抗馬になるのを辞退し、代わりに大統領選への出馬を示唆していたが、彼の顧問は「多くの人から勧められ、彼も耳を傾けているので、院内総務に立候補する可能性はある」と言った。ニューヨークタイムズ紙とシエナ大学が5月に行った世論調査によると、民主党支持者の3分の1がシューマー支持である。

＊ICE、予定の入国審査にやってきた8歳のハイチ人少年を拘束：KPBSの報道によると、先週ICEは、カリフォルニア州サンディエゴで予定されていた入国審査に訪れた8歳の少年を拘束した。法廷傍聴人のボランティアがその状況を撮影し、「幼い子どもが一人でこのような形で拘束されるのを見たのは初めてだ」と言った。ハイチ人のこの少年は２０２５年に父親が国外追放されてから、叔父のもとでサンディエゴで暮らしている。国土安全保障省によると、叔父には法的監護権がないため、少年は保護者のいない未成年と扱われ、「万全を期すため」難民再定住局の保護下に置かれていたという。サンディエゴ統一学校区など地元当局は、国土安全保障省のマークウェイン・マリン長官と保健福祉長官ロバート・F・ケネディ・ジュニア宛ての書簡を出し、少年を叔父のもとに返すように要望した。

[1] 有権者が第一希望、第二希望、第三希望のように順位づけて投票するやり方。

＊イラン人強制送還便が突然キャンセル：イラン系アメリカ人法律擁護基金の弁護士のアリ・ラナマによると、少なくとも８人のイラン人がアリゾナ州メサでパキスタン行きの強制送還便に乗せられたが、その便が突然キャンセルされた。この８人は、公開された裁判記録によると、トランプ政権は１０月中旬に第三国経由でイランに強制送還する計画であった。

＊Nvidia の CEO が中国の女性スパイと不倫関係とあるとトランプ政権も認識：ニューヨークタイムズ紙によると、マルコ・ルビオ国務長官は、Nvidia のジェンセン・ファン CEO が中国人スパイと親密な関係にあるとこを政府の当局者に警告する極秘メモの作成を監督していた。このメモは、トランプ大統領の中国訪問の前の５月に回覧されたが、それは、シンガポールに拠点を置くメガスピード社の幹部で中国籍のアリス・ホアン（ジェンセン・ホアンの血縁ではない）への電子監視に基づいている。メガスピード社は Nvidia のチップを約２０億ドル相当を購入、規制対象のチップを中国に密輸する手助けをした疑いが持たれている。米当局は、アルス・ホアンが中国国家安全省のスパイだと結論づけている。８日、ジェンセン・ホアンがアリスと不倫関係にあったことを認めたので、Nvidia は CEO に対する調査を開始した。Nvidia 社は「国家安全保障または Nvidia の機密情報が漏洩したと思う理由はない」と言っている。トランプ大統領は約１年前にこの件について報告を受けていたが、特に行動を起こさなかった。

その他の国際ニュース

＊イラクのクルド人地区でガス田攻撃、大規模停電：AP 通信によると、イラク北部のクルド人地域のホル・モル・ガス田が８日夜遅くドローン攻撃を受け、施設が操業停止、広範囲で停電となった。

・死傷者の発表はなく、被害程度も現時点では分からない。犯行声明もない。

＊スーダン軍、西コルドファン州で即応支援部隊（RSF)を攻撃：スーダン・トリビューン紙によると、スーダン軍（SAF)とその同盟軍は８日、西コルドファン州エル・クウェイの北約５５キロメールのところのアブ・ミナイキルで、RSF と激しい戦闘を行った。さらに SAF は、ワド・バンダ近郊で長距離ドローンを迎撃したと発表した。この撃墜はコルドファン州で７２時間で３回目となる。SAF は、ダルフール地方での今後の作戦のためのルートを確保するために西方へ軍を進めている。

＊SAF、国際刑事裁判所が指名手配しているバシール時代の高官を拘束：スーダン軍（SAF）は８日、オマル・アル・バシール元大統領の国民会議党の党首で、２０００年代初期にダルフールで戦争犯罪と虐殺を行ったとして国際刑事裁判所から指名手配されているアフメド・ハルーンを拘束したと発表したと、ロイター通信が報道している。ハルーンのイスラム主義運動は RSF に対して SAF と共闘していたにもかかわらず、何故 SAF が彼を逮捕したのかは不明。

＊セネガル沖で移民船が沈没、少なくとも３４人が死亡：７日、セネガルのケベール県、ダカールとサンルイの間にあるルンプール砂丘の沖合で、移民と難民を乗せた木製丸木舟が転覆し、少なくとも３４人が死亡した。救助されたのは１人だけと内務省が発表。

＊デモ隊を弾圧した後不名誉な形で国外脱出したバングラデシュの元首相シェイフ・ハシナ、帰国したいためパスポート発給を要請：ロイター通信によると、９日、バングラデシュの元首相のシェイフ・ハシナは、、インドのニューデリーのバングラデシュ大使館にパスポートと国民身分証明書の発給を要請した。これは、彼女が帰国して裁判所に出頭するつもりであることを示す確実な兆候である。彼女は首相時代、２０２４年の学生主導の抗議デモに対し、死者を出すほどの厳しい弾圧を命じた。昨年、裁判所は、この弾圧における彼女の役割に対し、欠席裁判で死刑判決を下した。抗議デモの間に彼女は首相を辞任してインドへ逃亡した。

＊コロンビア軍基地がドローン攻撃され、兵士３人が死亡：コロンビア北部サンタ・ロサ・デル・スルにある軍事基地がドローン攻撃され、兵士３人が死亡し、少なくとも１６人が負傷したと、コロンビア軍が７日に発表した。当局は、国民解放軍（NLA)の攻撃だと非難した。この攻撃は、先月ベネズエラ領内で NLA が攻撃されたことを受けての報復攻撃であり、保守派アベラルド・デ・ラ・エスプリエラが８月に大統領に就任して以来、治安部隊に対する攻撃が続いているが、その最新版である。デ・ラ・エスプリエラ大統領は和平交渉を中止し、武装勢力と軍事対決する姿勢を強化している。

＊グアテマラの議員と警察官３人が襲撃され死亡：ロイター通信によると、グアテマラの右派政党「希望の国民統一党」のフリオ・セサル・ポルティージョ・パス下院議員と国家警察の警察官３人が６日に、サカバ県リオ・オンドで襲撃され、死亡した。ベルナルド・アレバロ大統領は、犯人捜索と特定のために治安部隊に検察に協力するように指示した。この殺害

事件は、３週間前にグアテマラ・シティで元汚職対策検察官のフアン・フランシスコ・ソロルサノ・ファッパが射殺された事件に続くもので、またもや政治的暗殺の波への心配が高まっている。

＊メキシコ、１９件の殺人事件に関与したとされるハリスコ・カルテルの幹部を逮捕：メキシコ軍は８日、サポパンで行った作戦で、ハリスコ新世代カルテル「ロス・ルス」の幹部と言われるラファエル・アルバレスとその他１９人を逮捕した。メキシコ海軍によると、この作戦は米国麻薬取締局（DEA)からの情報に基づいて行われた。オマル・ガルシア・ハルフチ治安相は、アルバレスは、昨年ミチョアカン州ウルアパン市のカルロス・マンソ市長殺害を含む１９件の殺人事件に関与していると言った。アルバレスは逮捕時の銃撃戦で負傷した。米国から彼の身柄引き渡し令状が出ている。

＊ロシアの攻撃で数十万人のウクライナ人が停電に見舞われる：ウクライナ当局とエネルギー会社DTEKによると、ロシア軍のエネルギー施設への攻撃のため、ドニプロペトロウシク州で６０万人以上、ハリコフで２５万人が停電に見舞われた。これは7日のロシア軍の大規模攻撃で５つの地域で大規模停電を引き起こしたものに続くものである。ウクライナのゼレンスキー大統領はこの攻撃を、今週アブダビで予定されている米国仲介の交渉の前に、ウクライナに圧力をかけるものだと言った。

＊ポーランド、クラクフで銃撃事件発生、テロ捜査を開始：国家検察庁はクラクフの銃撃事件をテロ攻撃として捜査していると発表した。８日、２４歳のポーランド人男性がクラクフの歴史的な市中心部で銃を乱射し、英国人を含む６人を殺害、１５人を負傷させた。この襲撃の後、警察はオストロヴィエツ・シフィエントクシスキにある犯人の自宅捜索で両親と妹の遺体を発見した。犯人は警察との銃撃戦で負傷し、９日に死亡した。

＊アムステルダムで政府にイスラエルに対する行動を求める２０万人強のデモ：８日、２０万人以上の人々がアムステルダムでデモ行進、オランダ政府に対し、イスラエルへの武器販売をすべて停止し、イスラエルとの貿易制限を強化することを求めた。昨年のデモに参加したが、今回は参加しなかったロブ・イェッテン首相は、ガザに関する政府の対応を擁護し、イスラエルには「より強い政治的・外交的圧力」をかけると言った。